事例No.	831
公表年度	H30
団体の属性	一般市
団体名	石川県加賀市

事例区分	DX

タグ	・RPA ・（行政改革）業務の効率化 ・ICT

事例種類	RPA

事例内容・タイトル

RPA導入による業務の効率化

出典

地方自治体におけるAI・ロボティクスの活用事例

ＲＰＡ導入による業務の効率化（石川県加賀市）

実証実験　本格導入

第3次加賀市行政改革大綱に定める「IT（IoT）技術を活用した業務の効率化」を推進するため、「定型業務」や「大量処理業務」へのRPA※導入を推進し、事務改善や時間外勤務の縮減を図る。

※RPA（Robotic Process Automation）とは、「パソコン上で処理する一連の定型的な作業を、自動化するツール」のこと。

課　題

○　地方創生を推進するため、地方公共団体に求められるものが大きくなる中、**限られた職員でより効率的に業務を進める**必要がある。

○　**職員が多くの時間を費やしている「定型業務」や「大量処理業務」について 、業務の効率化**が求められている。

取　組

○　平成29年度に、「時間外勤務集計業務」、「契約管理システムと電子入札システムの相互連絡事務」、「財産貸付・使用許可事務」を対象としてRPAのパイロット版を導入し、効果検証を行った。

○　パイロット版による検証結果を踏まえ、平成30年度には、パイロット版の3業務に合わせ、「工事検査情報自動連係事務」の本格導入を行っている。

成　果

○　パイロット版による効果検証では、業務改善を合わせて行うことで**約74%の工数削減が見込まれる結果**となった。

業務名称	業務改善+RPA化による効果	RPA化による効果
時間外勤務集計業務	100時間/年→ 23時間/年 **約77%**の工数削減	100時間/年→ 71時間/年 **約29%**の工数削減
契約管理システムと電子入札システムの相互連絡事務	169時間/年→ 22時間/年 **約87%**の工数削減	169時間/年→ 54時間/年 **約68%**の工数削減
財産貸付・使用許可事務	96時間/年→ 51時間/年 **約47%**の工数削減	96時間/年→ 52時間/年 **約46%**の工数削減
パイロット対象 3業務の効果見込み	365時間/年→96時間/年 約74%の工数削減	365時間/年→177時間/年 約52%の工数削減

